

平成 20年度石川県リハビリテーションセンター事業実績

1 地域リハビリテーション支援事業

(1) 個別支援

依 頼 先	件 数
医療機関	98 件
福祉機関	236
教育機関	121
職業関連施設	12
保健福祉センター	15
地域包括支援センター	17
市町	15
訪問看護ステーション	9
居宅介護支援事業所	3
難病相談・支援センター	56
高次脳機能障害相談・支援センター	100
企業	8
その他	17
合 計	707

(2) 身体障害者更生相談所と協働(個別支援)

補 装 具 対 象 種 目	人 数
電動車いす	6 人
車いす(オーダーメイド)	6
重度障害者意思伝達装置	2
義肢・装具	2
合 計	16(延べ 50件)

(3) 市町事業支援

保健福祉センター	9 件
難病関係	7
高次脳機能障害関係	2
教育関係	15
地域包括支援センター	1
その他	13
合 計	47

2. 研修

地域リハビリテーション研修会

実施年月日	研修会テーマおよび講師	会場	参加者数	備考
平成29年12月7日(日) 13:00 ~ 17:00	第 部 基調講演 「脳卒中のリハビリテーション最前線」 講師：森之宮病院 院長代理 宮井 一郎 (リハビリテーション専門医) 第 部 パネルディスカッション 「北陸三県における脳卒中リハビリテーションの現状」 ~急性期から回復期・維持期への連携を考える~ 富山県の立場から 講師：富山県高志リハビリテーション病院長 野村 忠雄 福井県の立場から 講師：福井県済生会病院 脳神経外科部長 宇野 英一 石川県の立場から 講師：恵寿総合病院 副院長 川北 慎一郎	いしかわ総合 スポーツセンター 2階 会議室	人 181	

地域リハビリテーション実務者研修会「介護予防の個別支援のあり方」(各圏域で開催)

1) 事例から学ぶ生活行為向上のための個別支援のあり方~認知症、閉じこもり予防・支援を中心として~

実施年月日	講師	会場	参加者数	備考
平成29年7月10日(木) 10:30 ~ 12:00	あいずみクリニック 作業療法士 尾尻 恵子	生涯学習センター能登分室	人 22	
平成29年7月1日(金) 10:30 ~ 12:00	恵寿総合病院 作業療法士 進藤 浩美	能登中部保健福祉センター 大会議室	35	
平成29年7月24日(木) 10:30 ~ 12:00	能美市介護老人保健施設 はまなすの丘 作業療法士 明福 真理子	南加賀保健福祉センター 大会議室	46	
平成29年8月5日(火) 10:30 ~ 12:00	桜ヶ丘病院 作業療法士 岡田 千砂	リハビリテーションセンター 4階 大研修室	71	

2) 事例から学ぶ運動器の機能向上のための個別支援のあり方

実施年月日	講師	会場	参加者数	備考
平成29年7月10日(木) 13:00 ~ 14:30	特別養護老人ホームこすもす 理学療法士 水上 直彦	生涯学習センター能登分室	人 25	
平成29年7月1日(金) 13:00 ~ 14:30	公立羽咋病院 理学療法士 北谷 正浩	能登中部保健福祉センター 大会議室	38	
平成29年7月2日(木) 13:00 ~ 14:30	やわたメディカルセンター 理学療法士 霜下 和也	南加賀保健福祉センター 大会議室	48	
平成29年8月5日(火) 13:00 ~ 14:30	またた老年リハビリ研究所 理学療法士 丸田 和夫	リハビリテーションセンター 4階 大研修室	78	

3) 事例から学ぶ口腔機能の向上のための個別支援のあり方~摂食・嚥下機能のアプローチを中心として~

実施年月日	講師	会場	参加者数	備考
平成29年7月10日(木) 14:45 ~ 16:15	市立輪島病院 言語聴覚士 佐々木 敏文	生涯学習センター能登分室	人 24	
平成29年7月1日(金) 14:45 ~ 16:15	恵寿総合病院 言語聴覚士 谷内 節子	能登中部保健福祉センター 大会議室	34	
平成29年7月2日(木) 14:45 ~ 16:15	やわたメディカルセンター 言語聴覚士 中山 さやか	南加賀保健福祉センター 大会議室	42	
平成29年8月5日(火) 14:45 ~ 16:15	金沢春日ケアセンター 言語聴覚士 矢田 恵	リハビリテーションセンター 4階 大研修室	73	

専門職研修会

実施年月日	研修会テーマおよび講師	会場	参加者数	備考
平成29年4月28日(土) 14:00 ~ 16:00	「疾病、傷害の予防と健康増進に対するリハビリ専門職の役割 - 海外の医療と健康増進の動向 -」 講師：(株)エー・ティー・ビー代表 泉 秀幸	リハビリテーション センター 4階 大研修室	51人	
平成29年10月18日(土) 14:00 ~ 16:00	「急性期から在宅までの作業療去のかかわり - 日本での臨床とカナダ・バンクーバーでの臨床研修から -」 講師：国立病院機構京都医療センター 宗丘 真理子(作業療去士)	〃	30	
平成29年11月8日(土) 14:00 ~ 16:00	「メロディック・イントネーション・セラピー」 講師：神戸大学医学部保健学科 教授 関 啓子	〃	54	
平成29年11月8日(土) 14:00 ~ 16:00	「個別面接場面におけるSSTの活用」 講師：ルーテル学院大学 総合人間学部臨床心理学科 大学院総合人間学研究科 教授 前田 ケイ	〃	73	

リハビリテーション技術研修会

実施年月日	研修会テーマおよび講師	会場	参加者数	備考
平成29年7月15日(火) 10:00 ~ 16:00 (1回目)	「リハビリテーション技術研修」 「個別評価の仕方、リハビリ計画の立て方」 講師：宮本 智次(ケアパツ石川 作業療去士) 「アクティビティとレクリエーションの具体的活用方法」 講師：西谷 すずな(老人保健施設ふいらーじゅ 作業療去士) 「職場でできる腰痛予防」 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリテーション センター 4階 大研修室	87人	
平成29年8月26日(火) 10:00 ~ 16:00 (2回目)	「リハビリテーション技術研修」 「基本動作の見方(寝返り、起き上がり、移乗、歩行等)」 講師：石渡 利浩(老人保健施設 和光苑 理学療去士) 「社会参加と外出支援のノウハウ」 講師：今寺 忠造(青山彩光苑穴水リハビリセンター 作業療去士) 「自立に導くADL(日常生活動作)の見方と介助の方法」 講師：リハビリテーションセンター職員	〃	71	

3. 福祉用具研修・啓発事業

福祉用具実技研修会

実施年月日	研修会テーマおよび講師	会場	参加者数	備考
平成20年8月8日(金) 14:00 ~ 16:30	難病福祉用具研修会 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター 4階 大研修室	18人	
平成20年10月16日(木) 10:30 ~ 15:00	「入浴動作の考え方と福祉用具の活用、住環境について」 「入浴に関する福祉用具の活用体験」～移動、移乗、洗体・洗髪～ 講師：リハビリテーションセンター職員	南加賀保健福祉センター	19	
平成20年10月2日(火) 10:30 ~ 15:00		リハビリテーションセンター	27	
平成20年10月29日(水) 10:30 ~ 15:00		奥能登行政センター	15	
平成20年10月3日(金) 10:30 ~ 15:00		能登中部保健福祉センター	21	

福祉用具スペシャリスト研修会

実施年月日	研修会テーマおよび講師	会場	参加者数	備考
平成20年7月6日(日) 13:00 ~ 16:00	「上肢の拘縮に対するセラピー」 ～生活の中で利用するスプリントの実際～ 講師：高槻赤十字病院 作業療法士 西出 義明	リハビリテーションセンター 4階 大研修室	70人	
平成21年2月21日(土) 14:00 ~ 17:30	「上肢拘縮の評価・治療、予防」 講師：金沢大学医薬保健研究域保健学系 作業療法専攻内講師 西村 誠次	リハビリテーションセンター 1階 作業療法室	23	

福祉用具適合技術研修会

実施年月日	研修会テーマおよび講師	会場	参加者数	備考
平成20年10月2日(木) 13:00 ~ 17:00	講義「生活場面における移乗の方法と福祉用具・環境調整の考え方」 実技「入浴・排泄場面における移乗の方法」 ～立位移乗・座位移乗・介助移乗～ 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	21人	

補装具・福祉用具技術支援連絡会

実施年月日	研修会テーマおよび講師	会場	参加者数	備考
平成20年7月3日(水) 13:30 ~ 16:30	「平成20年補装具制度の概要について」 「補装具利用状況のアンケート調査報告」 講師：更生相談所職員	リハビリテーションセンター	33人	
平成20年7月3日(木) 13:30 ~ 16:30	「事例検討 -車いすの処方と見積作成-」 講師：更生相談所職員、リハビリテーションセンター職員		14人	

テクニカルエイド普及研修会

実施年月日	研修会テーマおよび講師	会場	参加者数	備考
平成20年8月4日(火) 13:00 ~ 16:15	講義「コミュニケーションから変わる福祉・特別支援教育」 講師：東京大学科学技術研究センター 中村 賢龍	県立総合養護学校	200人	
	講義「教育現場における取り組み紹介と生活支援に必要な動作の見方」 講師：リハビリテーションセンター職員		20人	

障害者のスポーツ用具・環境整備の普及啓発事業

実施年月日	研修会テーマおよび講師	会場	参加者数	備考
平成20年5月18日(日)	車いすバスケットボール・車いすツインバスケットボール体験講習	いしかわ総合スポーツセンター	70人	
平成20年9月2日(日)	障害者ふれあいフェスティバル2008 チェアスキーゲームと電動車いす試乗体験会	県産業展示館	231	
平成21年1月7日(水)	車いすバスケットボール競技体験モデル事業(第1回) 講義: スポーツ用車椅子の特性と基本的操作法	金城大学医療保健学部	163	
平成21年1月24日(水)	車いすバスケットボール競技体験モデル事業(第2回) 講義: 車いすバスケットボールのルールとの実際	金城大学医療保健学部	163	
平成21年2月16日(月)	車いすバスケットボール競技体験モデル事業(第3回) 実技: 車いすバスケットボールの実際1	金城大学体育館	19	
平成21年2月17日(火)	車いすバスケットボール競技体験モデル事業(第4回) 実技: Jamaney石川との合同練習	金沢駅西むつみ体育館	30	
平成21年2月18日(水)	車いすバスケットボール競技体験モデル事業(第5回) 実技: 車いすバスケットボールの実際2	金城大学体育館	19	
平成21年2月28日(土)	車いすバスケットボール競技体験モデル事業(第6回) 交流試合: Jamaney石川対金城大学チーム	いしかわ総合スポーツセンター	30	

県内理学療法、作業療法養成校学生のための福祉用具・住環境技術実習

実施年月日	内 容	学 校 名	学 科	備考
平成20年5月19日(月) 平成20年5月26日(月) 平成20年6月2日(月) 平成20年6月9日(月) 平成20年6月16日(月) 平成20年6月23日(月) 9:00~ 11:15	・アシスティブテクノロジー(福祉工学支援技術)について ・シーティング(座位保持) ・住環境 ・コミュニケーション ・自動車	金沢リハビリテーションアカデミー	作業療法 3年 26人	
平成20年5月26日(月) 13:30~ 17:00	・移動・移乗 ・シーティング(座位保持) ・日常生活行為 ・住環境 ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン	金沢大学医学部保健学科	作業療法 3年 26人	
平成20年6月2日(月) 平成20年6月30日(月) 13:30~ 16:10	・移動・移乗 ・シーティング(座位保持) ・住環境 ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン	金沢大学医学部保健学科	理学療法 3年 20人	
平成20年2月16日(月) ~20日(金) 9:00~ 17:00	・移動・移乗 ・コミュニケーション ・日常生活行為 ・住環境 ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン	金沢リハビリテーションアカデミー	理学療法 1年 26人 作業療法 1年 11人	
平成20年2月26日(木) ~27日(金) 9:00~ 16:00	・移動・移乗 ・コミュニケーション ・日常生活行為 ・住環境 ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン	金城大学 医療健康学部	理学療法 1年 86人	

4.福祉用具貸出し件数

分類	用具	件数	小計
装具	BFO・スプリングバランサー	23	92
パーソナルケア	トイレ・入浴 更衣 整容	69	
移動 移乗用具	杖 歩行器	15	286
	車いす	49	
	電動車いす	26	
	クッション	104	
	車いす部品	39	
	移乗用具 他	53	
食事 炊事 操作用具	食事 炊事用具	145	223
	操作用具	78	
家具 建具 建築設備	座位保持装置 いす	117	145
	机	14	
	スロープ 手すり 他	14	
コミュニケーション	スイッチ・入力装置	100	212
	意思伝達装置 会話補助装置	39	
	呼び出しベル 環境制御装置	40	
	固定 調整用具	33	
その他	スポーツ・レクリエーション用具	19	80
	訓練用具 他	61	
		合計	1038

5. 見学実習及び体験学習の実施

見学実習

	大 学	短 期 大 学	高 校	福祉系専門学校	企 業	そ の 他	合 計
見学受入団体数	5	1	6 (9)	5 (7)	1 (4)	6	2 4 (3 2)
見学者数 (人)	1 2 3	9	3 0 5	1 4 6	3	1 1 7	7 0 3

() は延べ団体数

小・中・高校生向け体験学習

	小 学 校	中 学 校	高 校	そ の 他	合 計
体験学習実施団体数	1	3 (7)	2	-	6 (1 0)
参加者数 (人)	8 4	5 3 6	5 8	-	6 7 8

() は延べ団体数

高齢者疑似体験用具の貸出

	小 学 校	中 学 校	高 校	大学・専門学校	企 業	そ の 他	合 計
貸出件数	6	5 (1 1)	4	6 (7)	6	3 (4)	3 0 (3 8)

() は延べ貸出件数

6.ほっとあんしんの家利用状況

単位 件、人)

利用者数	月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	平成 18年度	件数	35	37	70	45	36	57	46	53	27	16	30	21	473
人数		191	334	496	536	255	955	671	407	96	128	367	243	4679	
平成 19年度	件数	21	20	24	28	37	42	36	26	19	23	22	20	318	
	人数	54	371	368	188	156	621	560	224	164	87	490	191	3474	
平成 20年度	件数	22	21	34	32	31	25	40	28	14	13	38	20	318	
	人数	236	241	349	316	129	495	730	254	101	55	483	278	3667	

7.ほっと石川あんしん号の派遣

派遣年月日	イベント名称	派遣先	見学者数	*平成19年度
平成20年 5月30日	小松市安宅公民館福祉体験教室	小松市安宅公民館	60人	8回 900人
平成20年 8月10日	能美市民ボランティアフェスティバル	根上町総合文化会館	60人	
平成20年 9月2日	障害者ふれあいフェスティバル	石川県産業展示館	250人	
平成20年10月 5日	中能登町福祉のつどい	ラピア鹿島	150人	
平成20年10月19日	羽咋市福祉まつり	羽咋市民会館	180人	
平成20年10月25日	金城祭	金城大学	150人	
平成20年10月31日	北陸学院大学祭	北陸学院大学	120人	
合計7回			970人	

8. バリアフリー推進工房事業

障害者への支援（住宅改修・福祉用具の適合、工学支援技術の提供）

ア 医療・福祉機関等に対する支援	460件
イ 教育機関に対する支援	107件
ウ 更生相談所に対する支援	48件

企業、団体、行政機関に対するユニバーサルデザインや製品開発に関する相談支援

ア 企業に対する相談支援	340件
・ユニバーサルデザイン扉の開発指導・検証（コマニー）	
・自走式水用車いすのフォローアップ（シグワークショップ）	
・JWX-1特殊インターフェースコントローラの開発指導・検証（ヤマハ発動機）	

イ 行政、公共団体に対する支援

公的施設等へのバリアフリー化に対する支援 215件

- ・県央南部総合養護学校（仮称）の増築・改修工事
- ・県いしかわ総合スポーツセンターの建設
- ・石川県立美術館の改修工事、旧県庁舎本館南ブロック等改修工事、金沢城址公園のユニバーサルデザイン指導
- ・のとじま水族館、いしかわ動物園文学館の改修工事
- ・県営住宅の建設（大桑・鳴和）ほか、公共施設ユニバーサルデザイン指導・検証
- ・障害者福祉施設のバリアフリー整備指導・検証
- ・別所岳サービスエリア、平和町歩道 その他の設計・施工検討
- ・国・県・市道の誘導ブロック敷設と色検討

更生相談所補装具製作に関する相談 27件

調査研究・研究開発

- ア 身体特性に応じた操作インターフェースの研究：
（既製品の電動車いす操作が困難な方々への操作インターフェースの試作）
- イ 生活・環境適応型車いすの開発研究：（自走式水用車いすの追跡調査）

ウ 就学・就労・生活のための道具・環境づくりの研究：

（学校教育用椅子座位適合評価装置の試作、自助具の試作）

エ カラーバリアフリー技術の研究：

（色弱者が見えにくいデザインを誰もがみえやすいデザインに改善するためのデザイン手法と見えにくさを判断するシステムの開発）

オ 建築のユニバーサルデザイン研究：

（シャワー室・トイレ等水まわり環境のユニバーサルデザイン、学校環境のバリアフリー対応など）

「ほっとあんしんの家」の活用

見学者利用： 3,667人

（研究開発利用：21件、教育研修利用：79件、障害者相談利用：121件

一般見学利用：97件）

福祉用具の貸し出し（医療・福祉機関への試用のための貸し出し） 1038件

9. 難病相談・支援センター事業

相談支援

ア 保健師、心理相談員による相談 随時

イ 専門医による相談（月1回）

ウ 作業療法士等による相談（月1回）

研修

ア セルフマネジメント（ヨーガ教室）研修（月1回）

イ ヘルパー研修会

ウ ボランティア研修

エ 専門職等研修

患者家族交流会

話し合い等 月1回

ピアサポート

患者によるピアカウンセリング 随時

医療ネットワークの構築 拠点病院、協力病院依頼継続等
会議

ア 難病患者支援ネットワーク会議（年1回）

イ 神経難病拠点病院連絡会（月1回）

10. 高次脳機能障害相談・支援センター事業

相談支援

ア 保健師、心理相談員による相談 随時

イ 専門医による相談 必要時

研修

医療関係者等

生活支援教室 週1回

会議

高次脳機能障害支援ネットワーク会議（年1回）

調査

高次脳機能障害者社会資源に関する調査